

林木育種場の組織改正について

林木育種場のあり方については、昭和30年代の発足以来20年を経過して時代の要請に基づく新しい林木育種の展開が必要となったことから、林木育種検討会において検討の結果、林木育種の抜本的強化拡充を内容とする報告書がまとめられたところではありますが、林野庁においてはこの報告に基づいて林木育種場の再編整備を行うことになり、本年度予算の成立とともに農林省組織規程の改正によって本支場を含めて林木育種場の組織機構が大幅に改正されました。

その要点は、①関東林木育種場を地域機関の機能を併せ持つ中央機関、関東以外の林木育種場を地域機関として運営し、関東林木育種場において林木育種の総合企画調整を行う。②従来の原種、経営課を育種、業務課に改組し、新たに育種研究室を設けて育種研究の体制強化を図る。③育種研究のほか育種事業の企画調整、普及指導に関する業務は一般会計で実施する。④これらの業務を担当する職員は3カ年で逐次一般会計に移替する、というものであります。当面、育種研究室は関東林木育種場の育種第一研究室が発足しただけですが、今後体制の整備をまっけて各育種場にも漸次専任の研究職が配置されることになっております。

従来林木育種場の機構、施設は育種事業を主体として編成されていたため、育種研究を推進するのに必ずしもふさわしいものではありませんでした。今回の再編整備は林木育種をめぐる客観情勢の変化に対応して、研究体制の強化充実を図ろうとするものであります。林木育種場は設立の当初から実際には育種研究も担当しながら、研究機関としての明確な位置付けがなされなかったことから研究者が十分には確保されず、研究施設も整備

されないまま今日に至ったわけですが、今回改正された農林省組織規程で「林木の品種改良及び増殖に関する研究」が明文化されて育種研究室が設置されることになり、ここに漸く試験研究機関としての新たな第一歩を踏み出すことになりました。

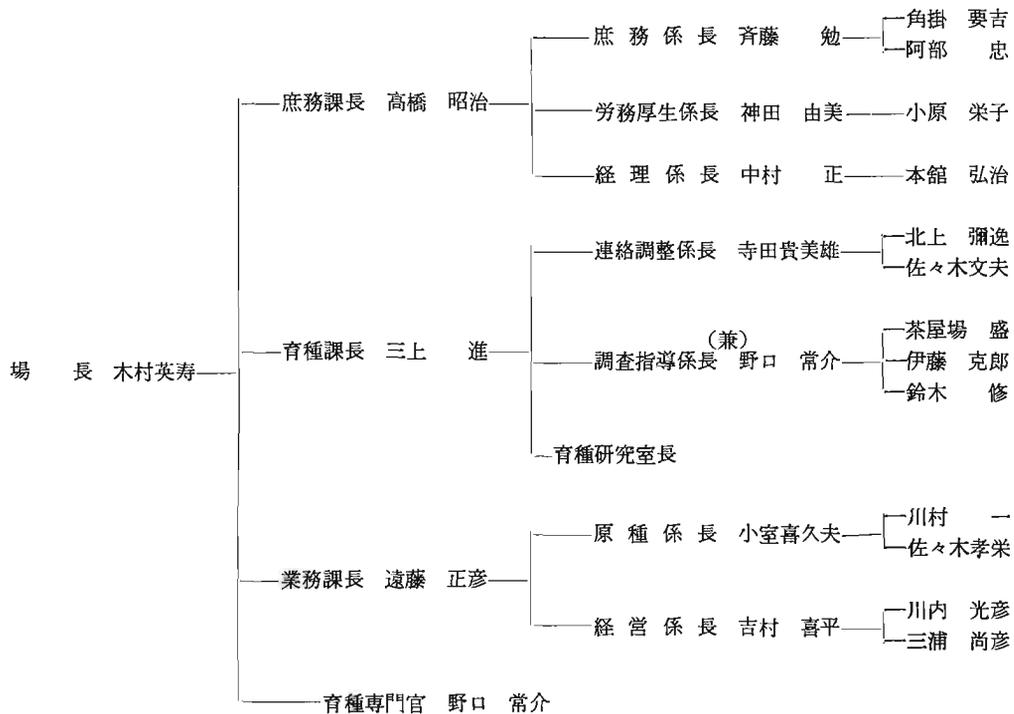
また林木育種場はもともと育種基本区の育種センターとして設置されたのにも拘わらず、従来国有林野事業特別会計のなかで国有林を対象とした事業用増殖を受け持っていたため、国有林付属の林木育種場と見られる点がないでもありませんでしたが、今回の組織改正に伴って育種研究が一般森林、林業行政の一環として位置付けされ、企画調整、普及指導業務についても育種研究同様一般会計で行うことになりました。勿論国有林野事業特別会計も林木育種場の中で依然として存続しておりますので、今後は国有林、民有林の双方に対する育種の推進を本来の任務として併行的かつ積極的に取り組んでまいりたいと思っております。

以上が今回の組織改正の概要であります。育種検討会の報告から2年経過した4月6日、定員については今後3カ年の段階的移行ながらとにかく新しい林木育種場の体制は発足しました。ただ発足後日まだ浅い現段階においては予算、施設、人員等諸般の点でなお多くの制約条件があり、新しい組織機構がフルに動くには至っておりませんが、関係方面の御理解と御指導を得て速やかに体制の整備を図り一日も早く本来の機能を発揮しようよう全力を尽くす所存であります。基本区内外各機関の絶大なる御支援を望んで止みません。

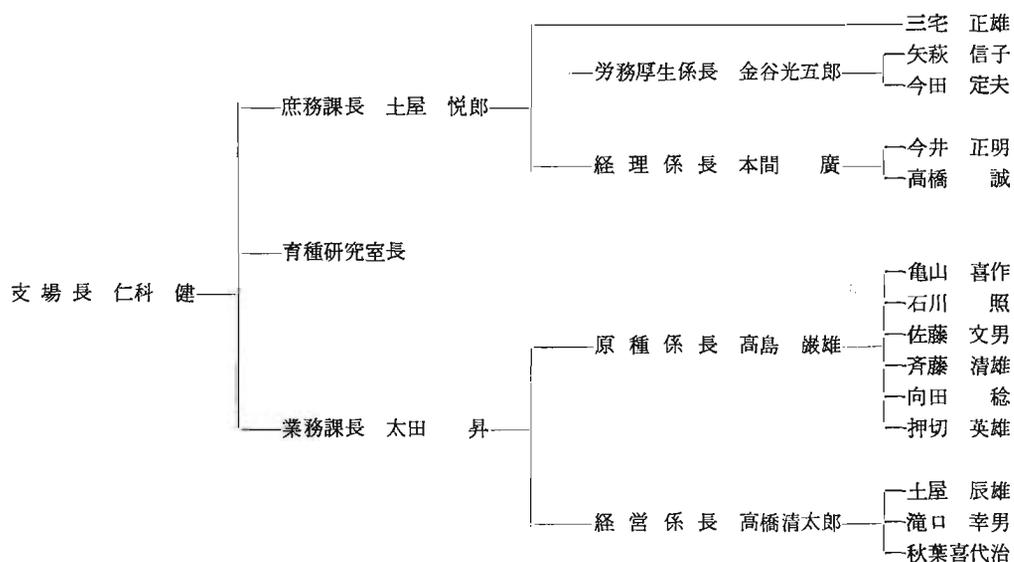
(東北林木育種場長 木村英寿)

◎東北林木育種場の組織と担当職員（昭和53.4.6現在）

◇東北林木育種場本場 <Tel 0196 (88) 4517>



◇奥羽支場 <Tel 02374 (7) 0219 (7) 0220 支場長室>



東北育種基本区 国有林民有林関係組織と担当者名簿 (昭和53年4月1日現在)

青森営林局：青森市柳川2-4-37 (〒030)，Tel 0177 (81) 2111

経営部長(亘 信夫) — 造林課長(荒木武夫，内線 211) — 課長補佐(菊谷謙三，内線 281)
— 種苗係長(田村正晃，内線 284) — (高根昭三)

なお、青森営林局にはスギほか4樹種の採種園22か所、スギ採穂園14か所が造成されており、これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する営林署の経営課、造林係(種苗係)が担当し、種苗事業所(担当区事務所)で実施している。

採種・穂園が所在する営林署は、蟹田・今別・増川・中里・金木・鯨ヶ沢・大間・むつ・乙供・三戸・久慈・盛岡・雫石・花巻・北上・川尻・水沢・川井・遠野・大船渡・気仙沼・古川・仙台および古川の24署である。

青森県：青森市長嶋1-1-1 (〒030)，Tel 0177 (22) 1111

農林部長(青木敏也) — 次長(村井 浄・中林武蔵) — 林政課長(佐々木光三，内線 3285)
— 造林班長(須藤清衛 内線3290) — (上山 明・赤石孝郎)

林業試験場：東津軽郡平内町大字小湊字新道46-56 (〒039-33)，Tel 01775 (5) 3257

場長(川口英志) — 次長(北島祐二) — 研究管理員(若原寿明・岩田 昭) —
造林科長(赤坂正一) — (辻村 章・兼平文憲)

同十和田支場：十和田市相坂字高清水387 (〒034)，Tel 01762 (3) 3055

支場長(中野渡忠雄) — 主任研究員(石田 実) — (越後助七)

岩手県：盛岡市内丸10-1 (〒020)，Tel 0196 (51) 3111

林業水産部長(米田 宏) — 次長(佐々木益人) — 林業課長(菊池助太郎，内線2381) —
課長補佐(新里 実，内線2387) — 造林種苗係長(新山 陞) — (玉川公喜)

林木育種場：江刺市稲瀬字瀬谷子(〒023-11)，Tel 01973 (5) 4529・(5) 3346

場長(浅沼昭典) — 次長(昆野俊弘) — 主任(達下幸七) — (大年昌夫・柏 実・
高橋良明・及川英治・千葉昭二)

宮城県：仙台市本町3-8-1 (〒980)，Tel 0222 (63) 2111

水産林業部長(斉藤 博) — 次長(菊田信男) — 森林造成課長(阿部光郎，内線 830) —
造林係長(今野 翼，内線 832) — (中鉢 翼)

林業試験場：黒川郡大衡村字柵木14 (〒981-36)，Tel 02234 (5) 2816・(5) 4171

場長(川上徳光) — 育種部長(大友統一) — 育種科長(三嶋久志) — (佐藤 亨・
遠藤正勝・赤坂収蔵)

秋田営林局：秋田市中通5-9-16 (〒010)，Tel 0188 (33) 4261

経営部長(小川秀次) — 造林課長(白浜隆久，内線 210) — (課長補佐 小坂 昇) —
種苗係長(大野貞雄，内線 276) — (諸井忠明・高橋小三郎)

なお、秋田営林局にはスギほか2樹種の採種園17か所、スギ採穂園15か所が造成されており、これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する営林署の経営課、造林係(種苗係)が担当し、種苗事業所(担当区事務所)で実施している。

採種・穂園が所在する営林署は、十和田・花輪・大館・早口・鷹巣・上小阿仁・二ツ井・能代・五城目・秋田・角館・大曲・増田・本荘・矢島・古口・新庄・真室川・向町・村山および山形の21署である。

秋田県：秋田市山王4-1-1 (〒010), Tel 0188 (60) 1621

林務部長(能勢誠夫) — 次長(佐藤五郎) — 林政課長(熊谷由五郎, Tel (60) 1637) —
 参事(柴田昭一郎) — 造林係長(斎藤俊次, Tel (60) 1630) — 主査(吉沢修平) —
 (利部敦男)

林業センター：河辺郡雄和町椿川字奥椿台193 (〒019-26), Tel 01888 (2) 2027

所長(大塚 勇) — 参事(斎藤善正) — 育種部長(高橋利清, 内線31) — 原種科長
 (川村 侃, 内線32) — (堀江敏広・阿部 功), 種苗科長(石川重男, 内線32) — (原田 実・
 大井牧夫・関 千代治)

山形県：山形市松波2-8-1 (〒990), Tel 0236 (30) 2527

農林水産部長(吉田劬夫) — 次長(合田一夫) — 林業課長(長嶋東一郎, Tel (30) 2533)
 — 環境緑化係長(紺野陽一, Tel (30) 2529) — (荒井正美)

林木育種場：東田川郡羽黒町大字手向字手向131-1 (〒997-02), Tel 023562-2157・2158
 場長(矢作一雄) — 次長(石向締吉) — 育種係長(菅原武久), 種苗緑化係長 —
 (佐藤次衛) — (保科忠雄)

前橋営林局：前橋市岩神町4-16-25 (〒371), Tel 0272 (31) 0611

経営部長(小松新平) — 造林課長(浅田和男, 内線 320) — 課長補佐(枝川蓮也)
 — 種苗係長(佐藤善光, 内線 323) — (根岸伊勢雄)

なお、前橋営林局の育種事業は新潟県下の国有林の分が当基本区に属し、ここにスギおよびアカ
 マツの採種園3か所、スギ採種園3か所がある。これら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する
 営林署の経営課・造林係(種苗係)で担当し、種苗事業所で実施している。

採種・穂園の所在する営林署は村上・新発田・村松・六日町および高田の5署である。

新潟県：新潟市学校町1-602 (〒951), Tel 0252 (23) 5511

農林水産部長(厚地 武) — 治山課長(阿部正博, 内線3367) — 副参事(樋口広衛, 内線3373)
 — 緑化係(中村恵一)

林業試験場：岩船郡朝日村大字鵜渡路 (〒958), Tel 02547 (2) 1171

場長(米山定雄) — 造林課長(渡辺哲夫) — (本間英樹・伊藤信治)

なお、新潟県にはスギおよびアカマツの採種園7か所、スギ採種園7か所が造成されており、こ
 れら採種・穂園の管理施業はこれらが所在する林業事務所の経営普及課・経営係で担当している。

採種・穂園が所在する林業事務所は、村上・新潟・長岡・小千谷・上越・津川・糸魚川 および相
 川の7所である。

※ **人事異動のお知らせ** (53.4.6)

本場業務課長(新)遠藤正彦 北海道林木育種場経営課長
 から。

同 (旧)遠藤昭太 関東林木育種場業務課長
 へ。

本場育種専門官 栄花 茂 北海道林木育種場育種専門
 官へ。

奥羽支場原種係長 高橋小三郎 秋田営林局造林課へ。

—— 内部移動は組織図のとおり ——

あ と が き

本号には、特集として当木村場長から、4月6
 日より改正になりました「国の林木育種場の組織」

の概要について、林木育種を将来益々充実発展さ
 せたいと言う願いをこめ、読者各位の御理解と御
 協力を得たい一心で書いてもらいました。また、
 組織改正に伴う当場の組織と人容もお知らせし、
 併せて、当基本区内の各機関における育種部門に
 関連する現在の組織と担当される方々についても
 広く御承知願いながら日常の御仕事等の御参考にも
 供していただければと思っ載せてみました。

昭和53年5月1日発行

編集 東北林木育種場

岩手県岩手郡滝沢村滝沢

TEL 0196(滝沢駅前局)88-4517

印刷所 杜 陵 印 刷